

地域戦略人材塾 第5回「ナッジを活用した自治体の未来（実践編）」

（講師：津田広和先生）

コメントシートのまとめ

今回のコメントシートには、特にご質問、ご要望等はございませんでした。皆さまの感想などを以下に取りまとめましたので、ご覧ください。

- ・参加自治体の皆さまの例を拝聴し、ナッジの考え方や整理の仕方を深めることが出来ました。講義の中でもありました、検診系の業務への横展開や、自身の担当であるふるさと納税への活用、さらには本市で現在推進している「戦略的広報」への活用可能性も見えました。
- ・ふるさと納税への寄附行動に関するものに活かそうです。PolicyGarageについては以前から興味がありましたのでつないでいただくとありがたいです。何かできるわけではありませんが、定例会拝聴したいと思っています。
- ・身近にあるナッジを聞けば気付けるが、自分で探そうとすると中々見つからないと思った。一目で分かる広告がもたらす重要な役割を改めて感じた。住民への周知などに分かりやすく伝える事の大事さを活かせると思う。
- ・身近なところにナッジを活用したものがたくさん溢れているということに気が付いた。もう少し、気を配り見つけても面白いと思った。思った方向に行動や意識を向かせることができるため、応用がかなり効くと思った。
- ・easy, attractive, social, timely をそれぞれの関係性を考えると何が効果的であるかが見えて来そうですね。選択させたい結果への誘導など、勉強になりました。
- ・ナッジを難しく考えてしまっていたが、今回の講義やみなさんの発表でナッジが自分たちの生活の身近にあること、自分も気づかないうちに行動変容を促すことをしていたことに気が付いた。また、ナッジがすべてに効果的であるとは限らず、地域や対象によってどの方法が効果的であるかを見極めることも重要であると感じた。何事も業務のなかで市民や相手の立場にたって、どう見せたら行動変容やいい方向に向けられるかを考えてみることに。

講義と関係ありませんが、先日スーパーでみなべ町産の梅干しを見つけました。

「うめ課」のお話を聞いていたので、とても身近に感じ、嬉しくなり購入しました（おい

しかったです！)。人材塾で講義以外にも知らなかった地域や取組を知れるので、今後もぜひ他の地域との交流を深めたいと思いました。

- ・ 特定健診の勧奨は実際にナッジを活用して事業改善をしている自治体があったので勉強になりました。 具体的な事業でナッジの設計を勉強できた。
市の事業の全体調整やコーディネートといったことが求められる部署にいるため、課題感の強いマイナンバーカードの取得率向上をテーマにさせてもらいましたが、行動のマッピングは非常に有効な分析手法だと思いました。引き続き勉強したい内容でした。
- ・ 今ある課題を見つめ直してシンプルに物事を考えていくことが大事だと思いました。
- ・ なにげない日常にナッジが至る所に取り入れられているのだと、改めて感じた。 郵便物や案内などの色、フォントをより見やすく、理解してもらえる工夫(ナッジ)をしていこうと思う。
- ・ この講義を受けるまでは、ナッジというものを意識したことがなかったが、考え方を学べたので市民の行動を考えながら政策を進めていけると思った。
- ・ ほかの自治体の方の話も聞き、身近にあるナッジを再確認できた。それらをうまく活用することで、仕事や日常生活にも良い影響を与えることができる。 行政からの通知文等はどうしても文章が固くわかりづらいと感じることも多いため、ナッジを活用した端的でわかりやすいものにするのは重要だと思う。
- ・ ナッジを活用する際は、自分の地域や住民の特性を知ったうえで事業に取り入れなければ効果が発揮できないところを他の参加者の宿題発表時に改めて気づくことができました。市民の方向けの通知にはたくさんのボトルネックがあると気づきました。これからは今回教えていただいた摩擦や燃料を分析し、通知を発送する際はどうすれば通知を認識してもらえるか、開封し理解してもらえるか考えながら市民に情報発信できるように努めていきたいと思っています。

多くのご感想を頂戴し、ありがとうございました。

地域戦略人材塾 事務局